

<p><b>【技術の名称】</b>          鋼棒内蔵型木質ブレースによる耐震補強工法（改定1）</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第17-12号 改1          性能証明発効日：2019年8月20日</p>
	<p><b>【取得者】</b>          株式会社竹中工務店</p>

**【技術の概要】**

本技術は、既存鉄筋コンクリート造建物の柱と梁で構成されるフレーム内に鋼棒を内蔵した木質ブレースを設置し、建物の水平耐力を向上させる耐震補強工法である。ブレースに作用する軸力のうち、圧縮力を集成材が負担し、引張力を鋼棒（PC 鋼棒）が負担する機構を有する。

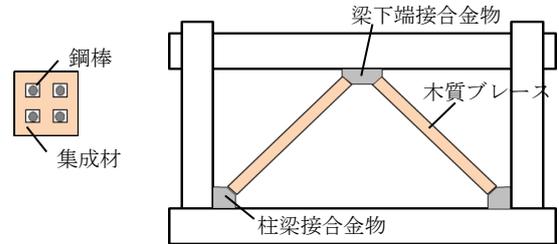


図1 鋼棒内蔵型木質ブレースの概要

**【改定の内容】**

新規：GBRC 性能証明 第17-12号（2017年10月3日）  
 改定1：GBRC 性能証明 第17-12号 改1（2019年8月20日）  
 ・「片流れ型」ブレース形状の追加

**【技術開発の趣旨】**

本工法ではブレースに作用する圧縮力を集成材が負担し、引張力を鋼棒が負担することによって、集成材、鋼棒の長所を活かした工法である。集成材をはじめとする木材の接合部において引張力を十分に伝達することが困難であることから、引張力に対する安定的な耐力を確保するために、鋼棒を内蔵させ引張力を負担させている。ブレース材に集成材を使用することの利点として、①材料の軽量化による施工性の向上、②炭素を固定した自然材料を使用することによる環境への配慮、③集成材を現して使用することによる美観の向上、などが挙げられる。

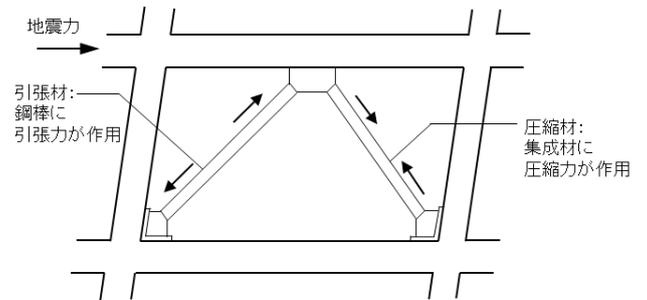


図2 鋼棒内蔵型木質ブレースのメカニズム

**【性能証明の内容】**

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。  
 申込者が提案する「鋼棒内蔵型木質ブレースによる耐震補強工法 設計・施工指針」に従って設計・施工された鋼棒内蔵型木質ブレースと既存骨組からなる耐震補強架構は、同指針で定める終局耐力および変形性能（耐震診断において用いる靱性指標 F 値）を有する。

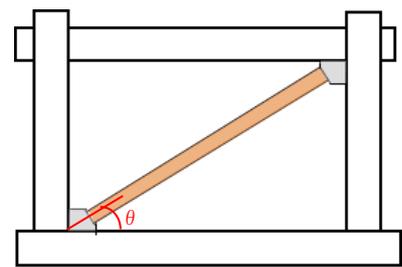


図3 適用範囲に追加する片流れ型ブレース

**【本技術の問合せ先】**

株式会社竹中工務店 担当者：横並 努  
 〒460-8633 名古屋市中区錦 2-2-13

E-mail：yokonami.tsutomu@takenaka.co.jp  
 TEL：080-8936-6961 FAX：052-201-0885